

平成28年3月期 決算説明会

平成28年6月10日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

I グループ概要

II 平成28年3月期 決算概要

III 中期経営計画

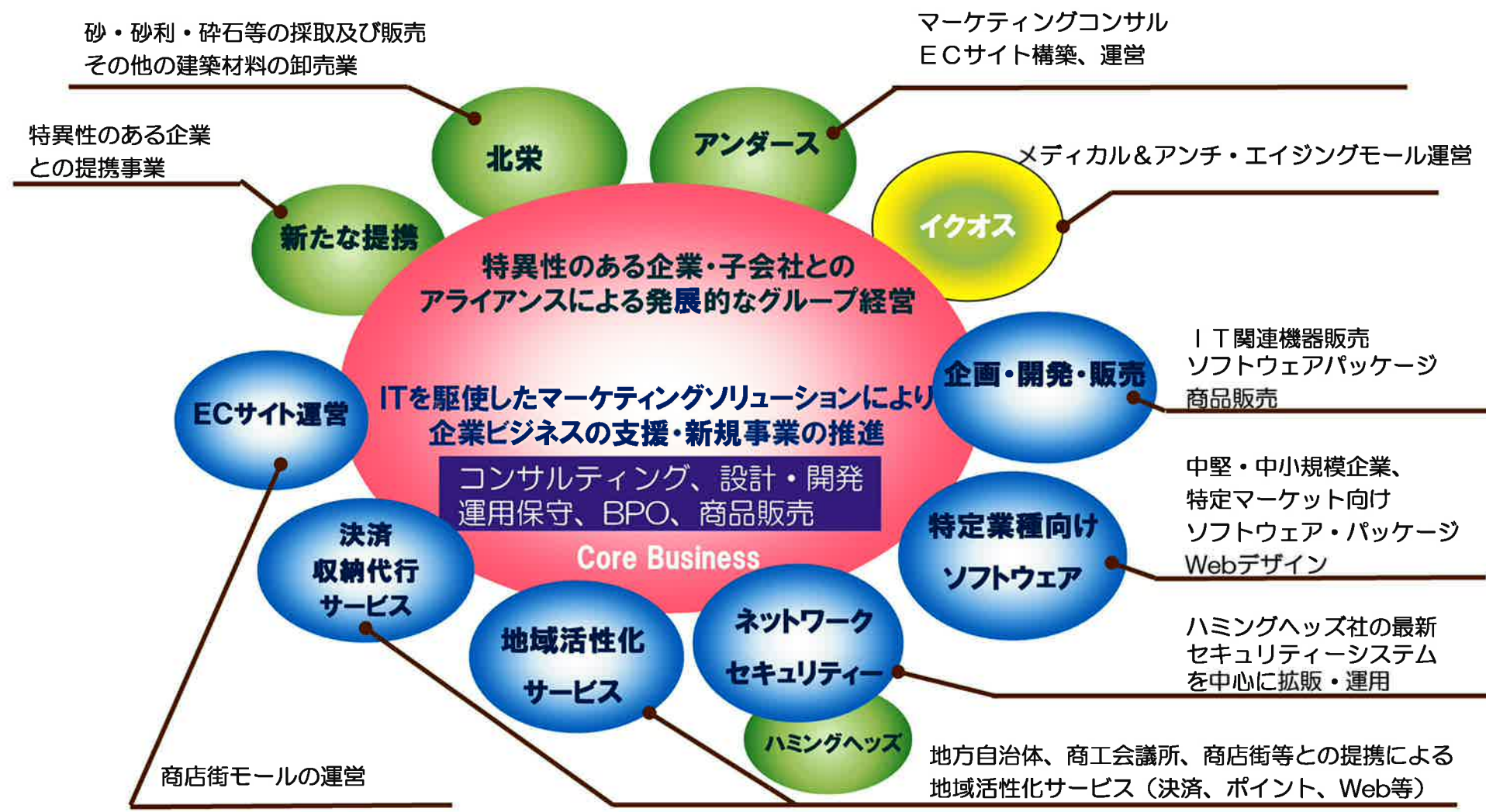


【設立】	1975年（昭和50年）10月
【代表者】	代表取締役社長 代永 衛
【資本金】	4億6,705万円
【事業内容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子会社】	イクオス株式会社
【沿革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年 4月 IT・コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年 4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年 4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年 9月 インターネットデータセンター開設 平成18年 4月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場 平成19年 5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成23年 7月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転 平成24年 9月 株式会社インスパイア（現株式会社アンダース）を子会社化 平成25年 8月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化 平成25年10月 株式を200分割 平成27年 3月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化から除外 平成27年12月 株式会社アンダースを子会社から除外



イメージ情報開発グループについて

「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。



■ 株式会社北栄の現状

株式会社北栄は、海砂採取、販売を主要事業としています。沖縄では那覇空港第2滑走路増設埋立工事が平成**28**年**5**月から行われております。船舶のフル稼働により、経営効率は大幅に改善されます。

那覇空港工事とは別に、次に控える大型埋立工事開始が来年早々に開始される予定です。

公的機関による船舶増設資金調達等の関係から、持分法適用関連会社から除外しましたが、さらなる関係強化を目的に「業務提携契約」を締結し、引き続きコンサルティング支援を継続しております。北栄社の今後の業績は大幅に拡大するため、当社の収益にも大きく貢献することと予測しています。

さらなる大型案件受注のため、船舶の増設を、現在準備中であります。

I グループ概要

II 平成28年3月期 決算概要

III 中期経営計画

バランスシート【連結】



【単位：百万円】

	平成27年3月期 年度末実績	平成28年3月期 年度末実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	921	983	62	6.7
流動資産	606	395	△210	△34.7
固定資産	315	587	272	86.2
負債合計	327	341	15	4.5
流動負債	202	207	5	2.4
固定負債	124	134	10	7.8
純資産合計	594	641	47	7.9
負債純資産合計	921	983	62	6.7

- ✓ 流動資産：現預金 73百万円増、売掛金 41百万円減、短期貸付金 231百万円減
- ✓ 固定資産：長期貸付金 203百万円増
- ✓ 流動負債：買掛金 41百万円増、賞与引当金 6百万円増、短期借入金 51百万円減
- ✓ 固定負債：退職給付に係る負債 10百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 38百万円増、その他資本剰余金 10百万円増

損益計算書【連結】



【単位：百万円】

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率(%)
売上高	839	1,253	414	49.3
売上総利益	186	263	76	40.9
販管費	278	192	△86	△31.0
営業利益	△92	70	163	—
経常利益	△178	62	242	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△76	37	114	—

- ✓ 売上高：外部リソースを活用した受注拡大等により、コンサルティング/設計/構築分野170百万円増、大型サーバ入替受注により商品販売292百万円増、他は堅調
- ✓ 経常損失/当期純損失：売上原価率やや上昇、販売管理費86百万円減、特別損失15百万円計上も増収寄与大きく黒字に転換

■ 当期連結業績

◎ 売上高 1,253百万円(前期:839百万円)

(単位:百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成27年3月期	355	199	94	189	839
平成28年3月期	525	156	385	184	1,253
前期比	147.8%	78.7%	408.9%	97.4%	149.3%

コンサルティング/設計/構築及び商品販売は増加、運用/保守が減少、他は堅調

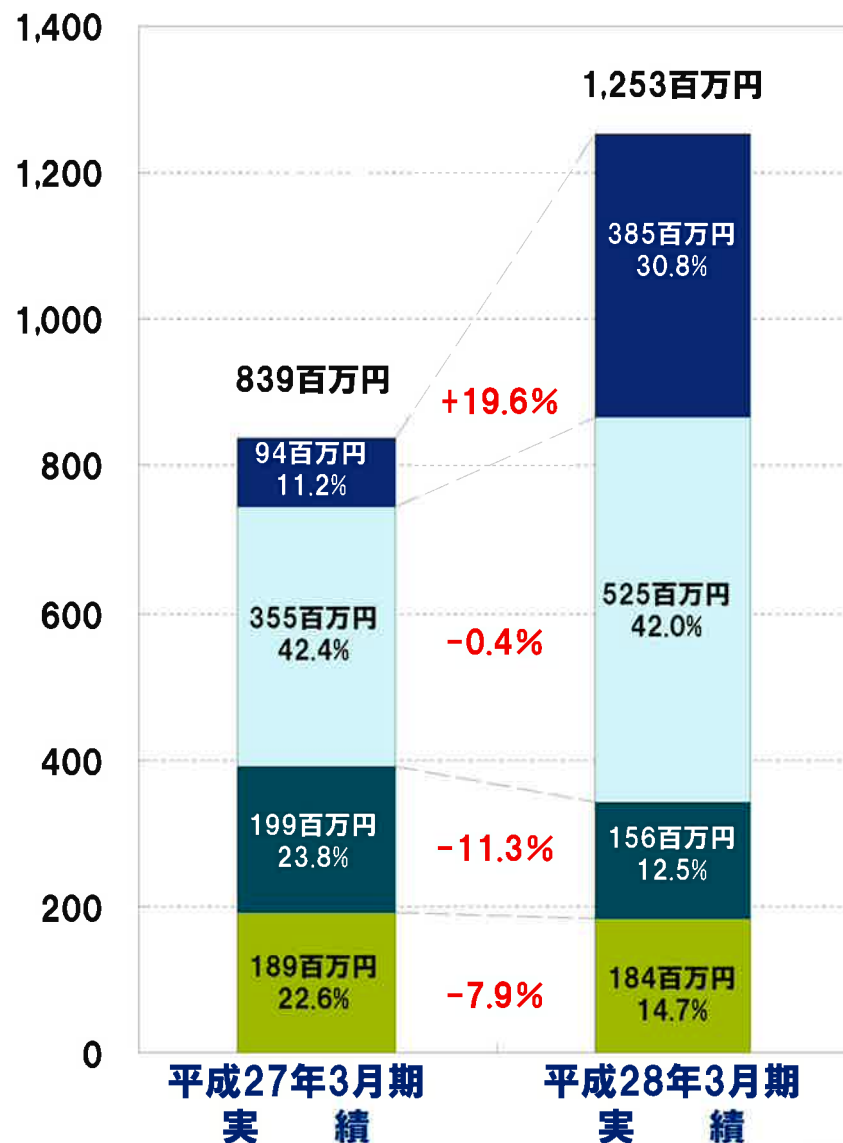
◎ 経常利益 62百万円(前年同期:経常損失 178百万円)

◎ 親会社株主に帰属する当期純利益
37百万円(前年同期:純損失 76百万円)



売上構成【連結】

【単位:百万円】



商品販売

大型サーバ入替受注により大幅増

コンサルティング/設計/構築

外部リソース活用による受注拡大

運用/保守

アンダース連結子会社除外により減少

BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱い、デジタルサインエージによる地域活性化サービスの新規受注で堅調

キャッシュフロー【連結】



【単位：百万円】

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	△ 38	138	177
投資活動によるキャッシュフロー	△ 23	△ 23	0
財務活動によるキャッシュフロー	2	△ 32	△35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 59	82	142
現金及び現金同等物の期末残高	30	112	83

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純利益 50百万円
- ✓ 投資活動CF：有形固定資産の取得による支出 17百万円
無形固定資産の取得による支出 16百万円
- ✓ 財務活動CF：借入による収入 46百万円
借入金の返済による支出 88百万円

I グループ概要

II 平成28年3月期 決算概要

III 中期経営計画

当社は「変革を求める企業・団体に対し、先進的ITを駆使した独創的サービスや機能の提供を通じ社会に貢献する」を理念に掲げ、長期にわたり金融・製造業等企業や大手商店街、商工会議所を通じた地域の活性化に努めてまいりました。

激動する経済社会の下、顧客企業に対する「先進的ビジネスモデルの提供」を目的に既存の中核技術をベースに他分野の知識や技術を組み合わせた多岐にわたるビジネスの「プラットフォーム」の構築に着手しました。

当社グループは、ヒト/モノ/カネ/情報をネットワーク化し、組織やサービスを束ね、顧客企業と共に永続的成長を目指した「プラットフォームビジネス」を最大の経営テーマにして成長してまいります。

独創性や高付加価値を有するネットワーク・複合技術を活用したサービスを実現するため、あらゆる分野の特異性を有する諸企業との提携や、さらに必要に応じてM&Aも実施してまいります。

中長期にわたる本格的成長を目指してまいります。

なお一層のご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

5年以内の東証2部上場を目指す

- 財務体質の速やかな改善
- ビジネス規模の大幅拡大
 - ・ 基幹業務の拡大強化
 - ・ 新規サービス事業の立上げ
- 東証2部上場基準のクリア
 - ・ 時価総額の拡大
 - ・ 株主数、総株式数、浮動株式数の増大

成長ビジネスモデルへの転換



- 時代の要請に沿ったプラットフォームビジネスを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンス、M&Aを実施する。
- 短期的には黒字化を定着させ、中期的には売上高・利益を飛躍的に伸長させる。

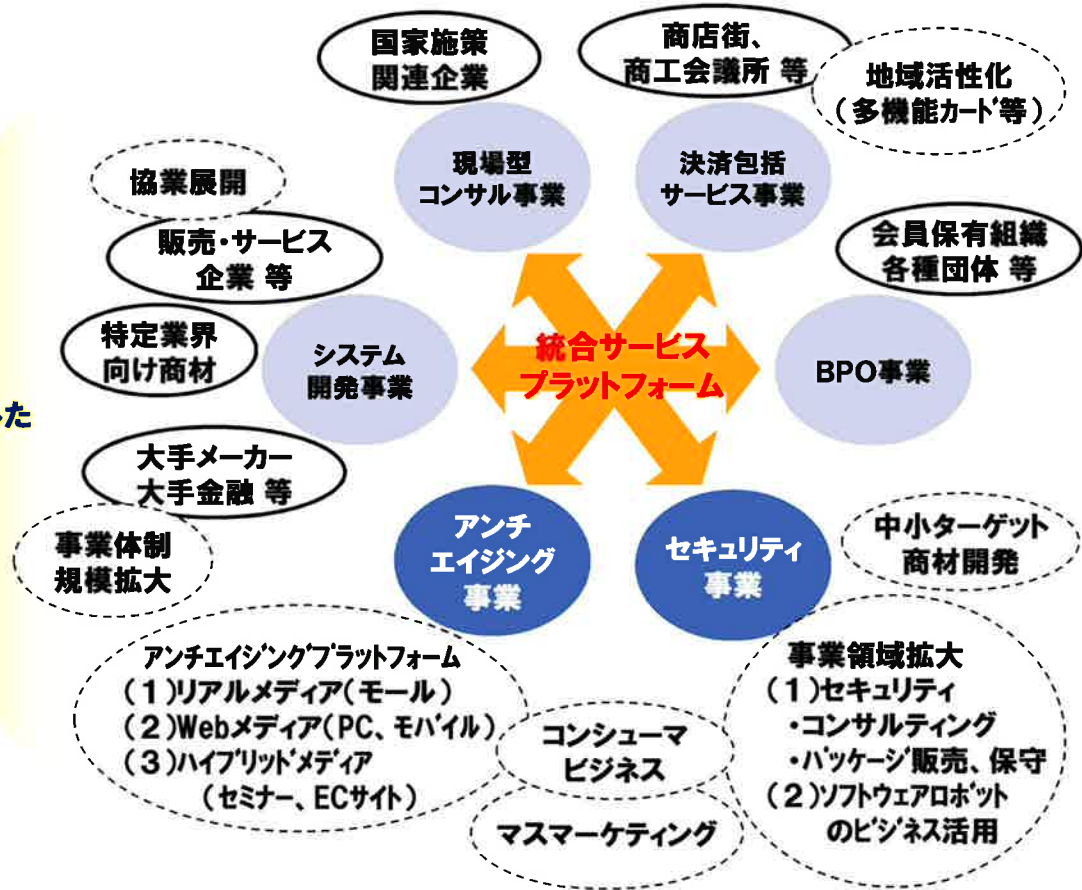


【現在の当社の強み】

- ・大手優良企業を中心とした信用ある顧客基盤。
- ・クレジット等各種決済関連のワンストップサービス。
- ・業界非依存の課題解決力。



当社の強みを活用した今後の事業展開



- ・既存、新規顧客間とそのエンドユーザをクロスマーケットする新市場の創造
- ・当社の強みをベースに特異性を有する企業とのアライアンスを活用した新価値(機能・サービス)の創造と提供
- ・先進的サービスプラットフォームによる絶対的存在としての地位獲得

新市場創造と新価値提供
永続的収益構造の確立



平成29年3月期の通期業績予想【連結】

(単位：百万円)

	平成28年3月期 (実績)	平成29年3月期 通期予想			
		上期	下期	通期	前年比(%)
売上高	1,253	467	468	935	74.6
営業利益	70	△23	59	36	52.4
経常利益	62	△21	62	41	66.3
当期純利益	37	△21	42	21	58.7

- 連結子会社除外および大型サーバ入替受注が上期で終了することにより売上高、利益が減少
- この影響を除けば、堅調に推移
- 新規事業及びM&Aは考慮せず



平成29年3月期の計画(セグメント別状況)

コンサルティング/設計/構築

- 外部人材リソースを活用した受注案件拡大
- 北栄社の業績拡大に伴うコンサル売上
- パッケージ商品のカスタマイズ受注の推進
- 売上原価率上昇の歯止め

運用/保守

- システム構築後の保守業務受託
- **EC**サイトメンテナンス業務の維持、拡大

プラットフォームビジネス

- セキュリティプラットフォーム ※
- 新カードによる地域活性化プラットフォーム
- アンチエイジングプラットフォーム
- ヴァーチャルリアリティ ネットワーク化 (検討中)

商品販売

- 既存大手取引先の大型機器入替受注 (上期)
- 商工会議所等を通してのセキュリティソフトウェアライセンス販売の強化 ※

BPO/サービス

- 商工会議所向け検定受付代行システムの再構築による新規取扱い会議所の開拓
- 決済サービスを活用した新たな受注先の開拓

企業活動の内容

プラットフォームビジネスの確立に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・高付加価値サービス提供に向けて特異性を有する企業とのアライアンス構築
- ・外部人材リソースを活用した開発案件獲得

◎ 株式会社北栄への新規事業等支援活動

- ・那覇空港第2滑走路増設埋立工事への海砂供給は本年5月から開始、船舶増設により飛躍的な業績向上が見込まれる
- ・その他大型工事受注に向けての体制整備

◎ サービス・BPOの拡大

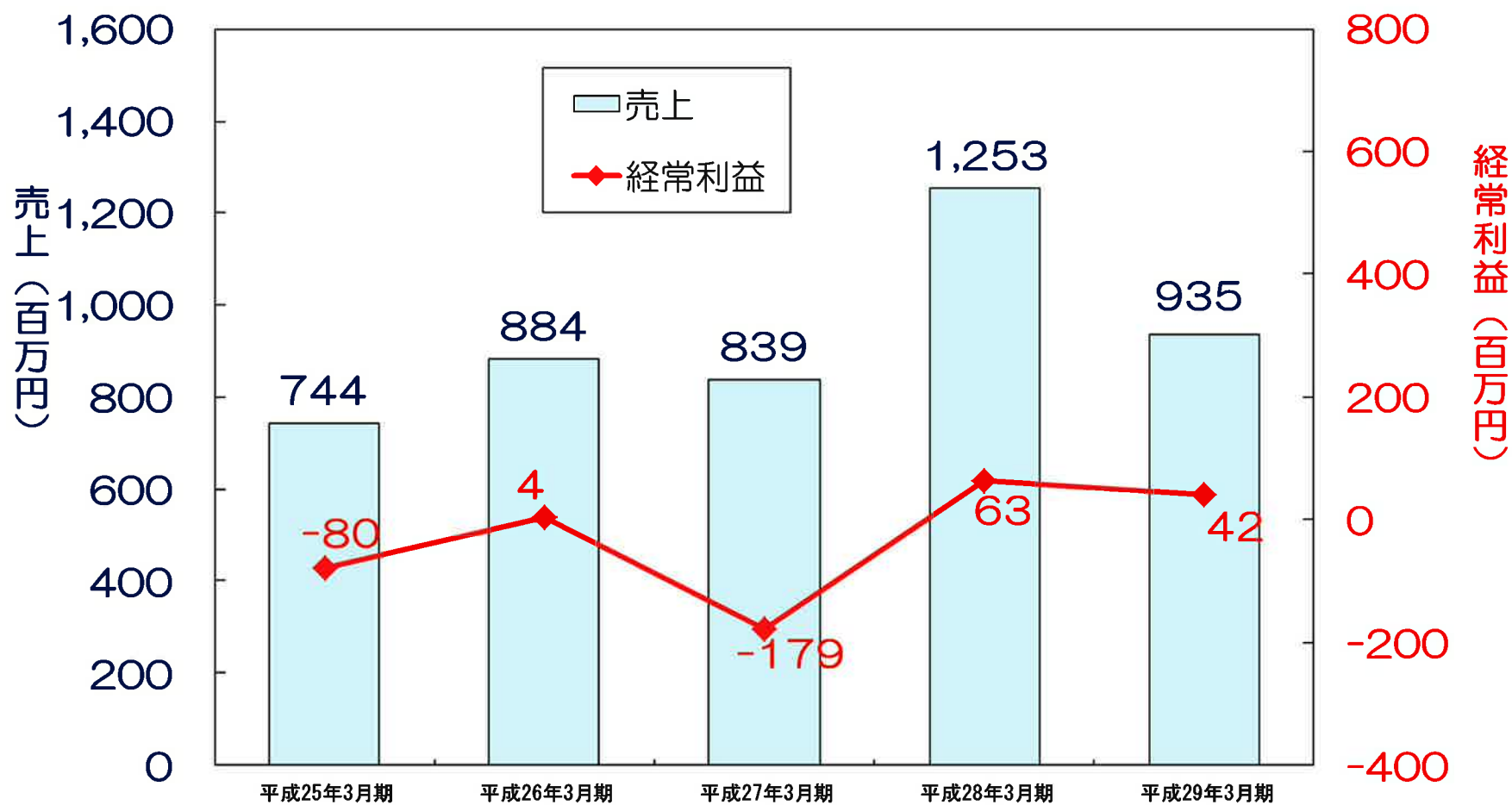
- ・商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託システムの再構築と拡販
- ・異業種企業とのアライアンスによる地域活性化施策の多様化促進

◎ ハミングヘッズ社との提携強化

- ・新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化
- ・当社営業ルートを活用したライセンス販売の強化

◎ グループ経営インフラの強化を目的とした組織の見直し

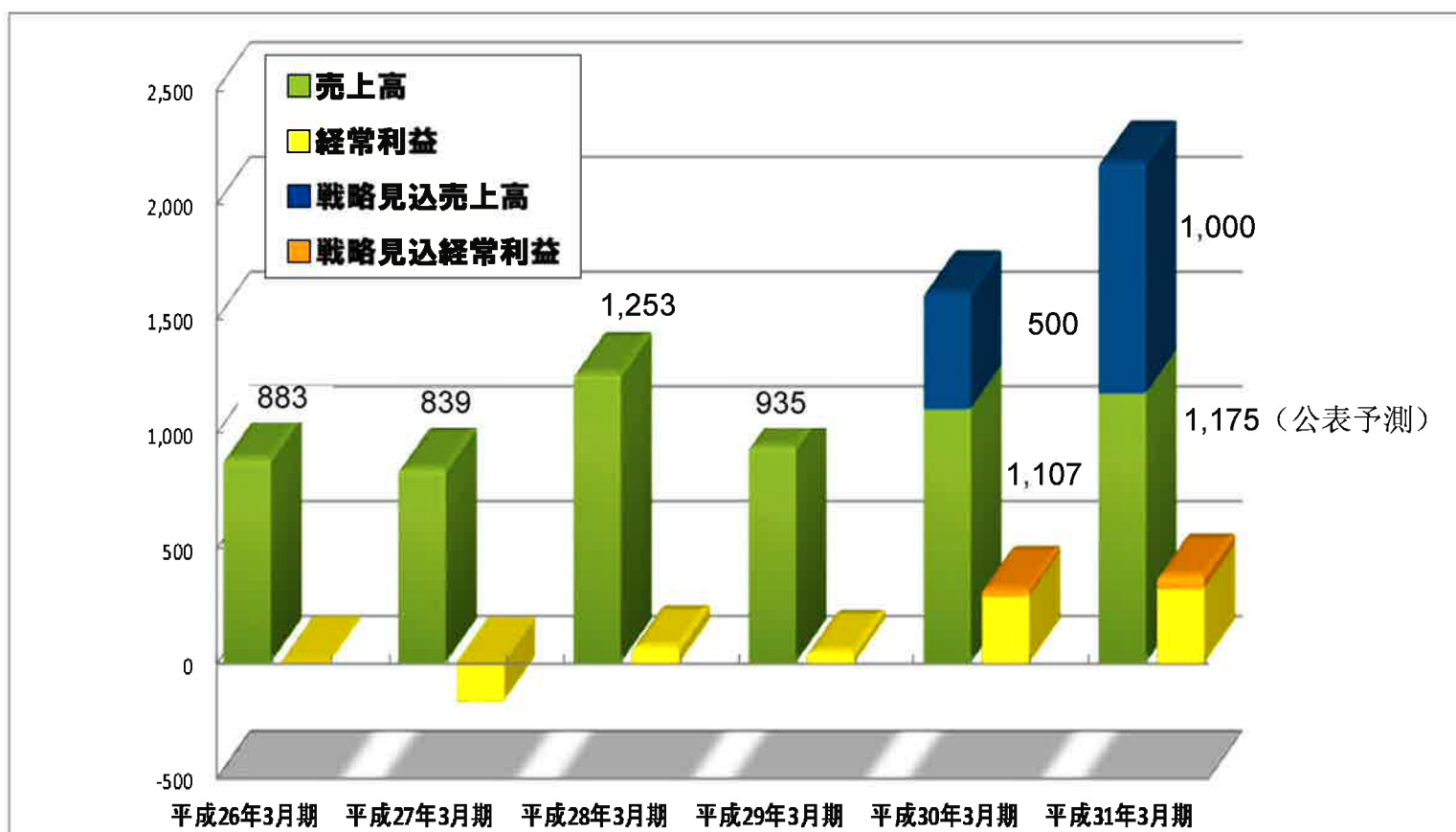
- ・売上原価の適正化、販売管理費の削減に向けて、組織の見直しを実施





3か年計数計画

■ 平成28年3月期	売上高	1,253百万円、	經常利益	62百万円
■ 平成29年3月期	売上高	935百万円、	經常利益	41百万円
■ 平成30年3月期	売上高	1,607百万円、	經常利益	315百万円
■ 平成31年3月期	売上高	2,175百万円、	經常利益	374百万円





本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。